仕様

品　　番	BE-EBWU012
寸法　全　　長	1,650 mm
寸法　全　　幅	550 mm
寸法　サドル高	695～815 mm
寸法　タイヤ形状	20×1 3/8 WO
寸法　軸間距離	1,061 mm
総車両質量	19.6 kg
フレーム形状	ループ型
ハンドルバー	中上がり
バスケット	標準装備
リフレクタ	後どろよけに取付
スタンド	両立スタンド
補助速度範囲	0 km/h 以上～15 km/h 未満
充電1回の走行距離（当社モード走行）	23 km
モーター形式	直流ブラシレスモーター
定格出力	240 W
補助力制御方式	踏力比例制御
バッテリー　品番	NKY140B02
種類	ニッケル水素電池
容量	24 V—2.8 Ah
質量	1,400 g
充電器　品番	NKJ016A
形式	スイッチング・レギュレーター式
電源	AC100 V（50 Hz／60 Hz）
充電時間	約 1.2 時間～1.5 時間
質量	530 g
消費電力	81 W
待機消費電力	約 1.5 W
駆動方式	チェーン式
制動装置　前輪	サイドプル式キャリパーブレーキ
後輪	内拡式ブレーキ
照明装置	バッテリーライト式前照灯
施錠方式	サークル錠
乗車適応身長	138 cm以上

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。

●寸法や質量等の値は、部品のばらつきや仕様変更により、2 %程度の誤差が生じる場合があります。

●仕様変更などにより写真、イラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

●電池寿命は、約500 回の充・放電または、約2 年が目安です。このときの電池容量は、初期の約60 %に低下します。（保証回数・期間ではありません。）

●この車種は、乗員体重を65 kgで基本設計しています。従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなり、また、走行距離が短くなります。

ナショナル自転車工業株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

© 2004-2005 National Bicycle Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

NYT770 N1204-1124

National

取扱説明書

電動ハイブリッド自転車

品 番 BE-EBWU012

Elegant ViVi

（上手に使って上手に節電）

※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、電動ハイブリッド自転車「エレガント **ViVi**」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4～5ページ）と「安全・快適にお乗りいただくために…」（20～21ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡し願います。
お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

●この自転車は、散歩、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。

お知らせ

この自転車は、幼児用座席を取付けることができません。

保証書別添付

● **保証書**は、**「お買い上げ日、販売店名」**などの、ご記入を必ずお確かめください。（記入がない場合は、無効となります。）
● 必ず、販売店に**防犯登録**をしてもらってください。（法律で義務付けられています。）

「走りが違う！軽さが違う！」… ナショナル　電動ハイブリッド自転車

◆『エレガント ViVi』の特長

①免許が不要の上、上り坂や向かい風または荷物を積んだ時などに、電動補助力の働きで楽に走れます。

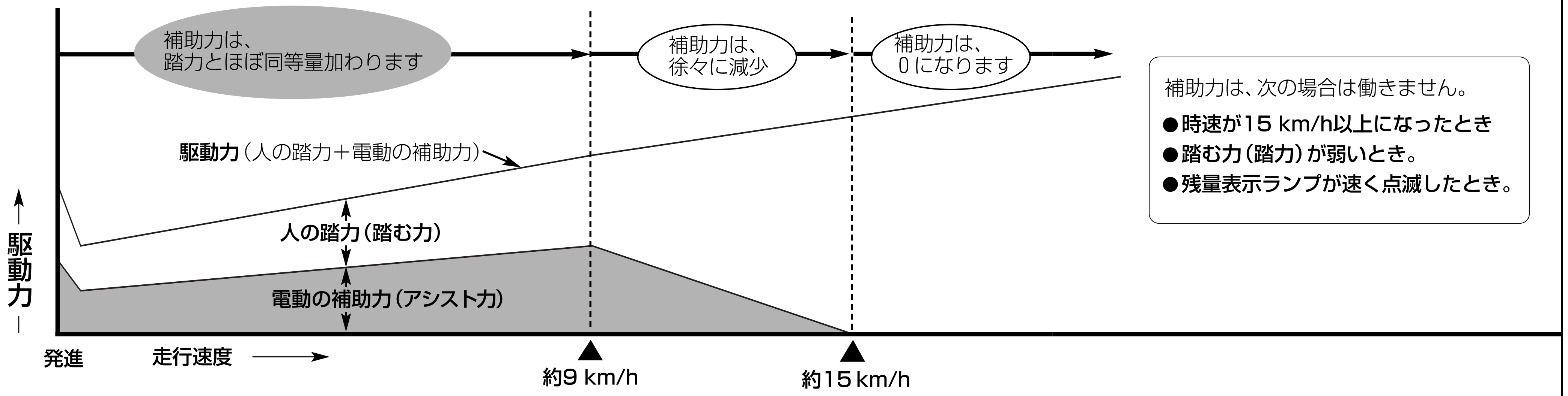
②バッテリーが切れても自転車として走行でき、乗りやすさと人力（踏力）優先の設計がなされています。

☆ 乗る人の踏力、道路の状況、積載荷物の重量等の条件により楽になる度合は個人差があります。

『エレガント ViVi』は、一般自転車とは、異なった電動補助システム付きの新しい自転車です。電動自転車の特徴をよく理解して、正しく安全に、快適にお使いください。

●電動補助力（アシスト力）の働きと大きさの変化

ペダルを踏むと瞬時に、補助力が働き、自転車の約半分の踏力で走行できます。
電動補助力の大きさは、変速位置、走行速度により変化します。



補助力は、次の場合は働きません。

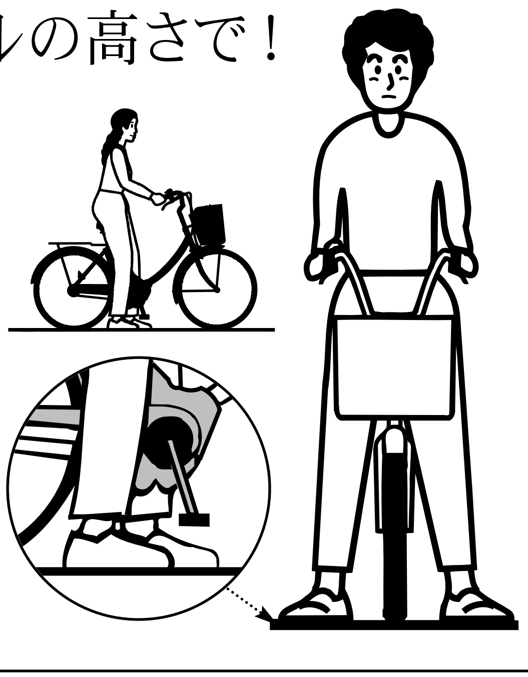
- **時速が15 km/h以上になったとき**
- **踏む力（踏力）が弱いとき。**
- **残量表示ランプが速く点滅したとき。**

安全にお乗りいただくために

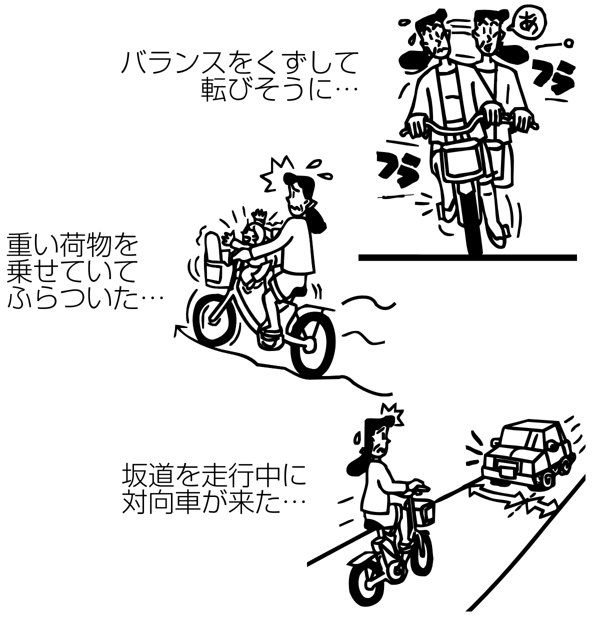
「両足のかかと」が地面に着くサドルの高さで！

- **サドルを下げ、**
  電動の補助力があるので、サドルが低くても、軽快に走れます。
- **両足を地面につける。**
  倒れそうになっても、しっかり支えることができます。
- **発進は、サドルにまたがってから！**
  電動の補助力で、発進も楽々。安全にスタート。

（運転、取扱いに慣れてからは、サドルを数センチ高くすると、よりスムーズに走行できます。）



“ドキッ”とするこんなシーンも…すぐに両足が着くと安心！



もくじ

お使いになるまえに

● 安全上のご注意 …… 4
● 各部のなまえ …… 6
● 充電（充電のしかた） …… 10

乗るまえに

● 点検 …… 14
● 調整 …… 16
● 確認（バッテリーの残量） …… 18
● 確認（走行距離の目安） …… 19

乗りかた

● 安全・快適にお乗りいただくために …… 20
● さあ、乗りましょう …… 22

乗ったあと

● 駐輪・施錠 …… 24

必要なとき

● バッテリーについて …… 26
● お手入れ／保管／廃棄 …… 26
● 注油について …… 27
● 定期点検／アフターサービス …… 28
● 盗難補償／基準適合TSマーク …… 29
● 故障かな？！ …… 30
● 仕様 …… 裏表紙

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を、説明しています。

🛇	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

本　体

⚠警告

■サドルやハンドルは「引上げ限界線」が見える状態で乗らない

サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突のおそれがあります。

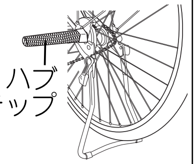
■改造や分解、また指定以外の注油はしない

分解禁止

部品の破損や、ブレーキが効かなくなって転倒や衝突のおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない

歩行者などに危害をおよぼすおそれがあります。



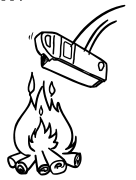
■調整後の締め付けを確認せずに乗らない
（車輪の脱着やサドル・バッテリーライトなど）

車輪などが、外れて転倒のおそれがあります。

バッテリー（電池）

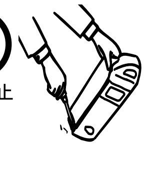
⚠危険

■火中に投げ入れたり加熱しない



■分解や改造はしない

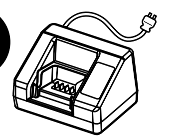
分解禁止



■他の機器に使用しない

■(+)と(−)を金属等で、接触させない

■充電には、専用の充電器を使用する



液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

⚠警告

■水を入れたり、水中に投下しない

端子部から水を入れるとショートして、発熱の原因に、また、水中に投下すると電池機能を失い、使えなくなります。

■傷ついたまま使用しない

ケースなど、破損したまま使用すると漏液や発熱の原因になります。
●お買い上げの販売店で点検をうけてください。

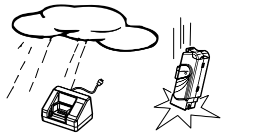
充　電　器

⚠危険

■分解や改造はしない

分解禁止

■衝撃を与えたり、落下や水濡れをさせない



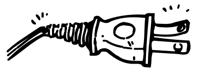
■専用電池以外の充電には、使用しない

発熱、発火、電池の液漏れ、感電のおそれがあります。

発熱、発火、感電のおそれがあります。

⚠警告

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱機具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、感電・ショート・発火の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■幼児やペットが触れる所に放置しない

感電・けがの原因になります。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。

■充電端子や電源プラグのほこり等は定期的にとる

ほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

⚠注意

■充電中は長時間、皮膚の同じ場所で触れない

充電中は、40〜60℃になる場合があり、低温やけどのおそれがあります。

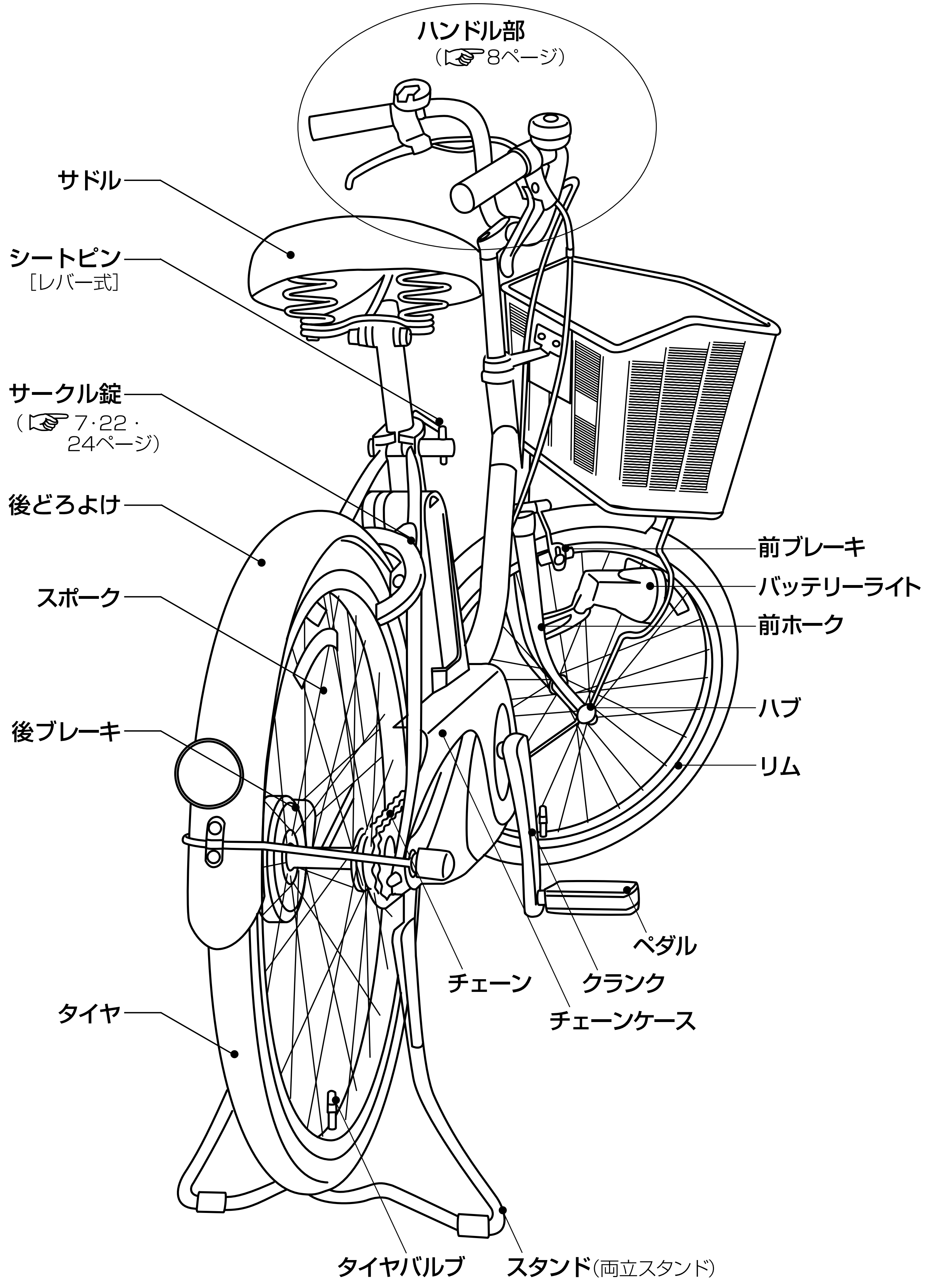
■充電器は不安定な場所に設置しない

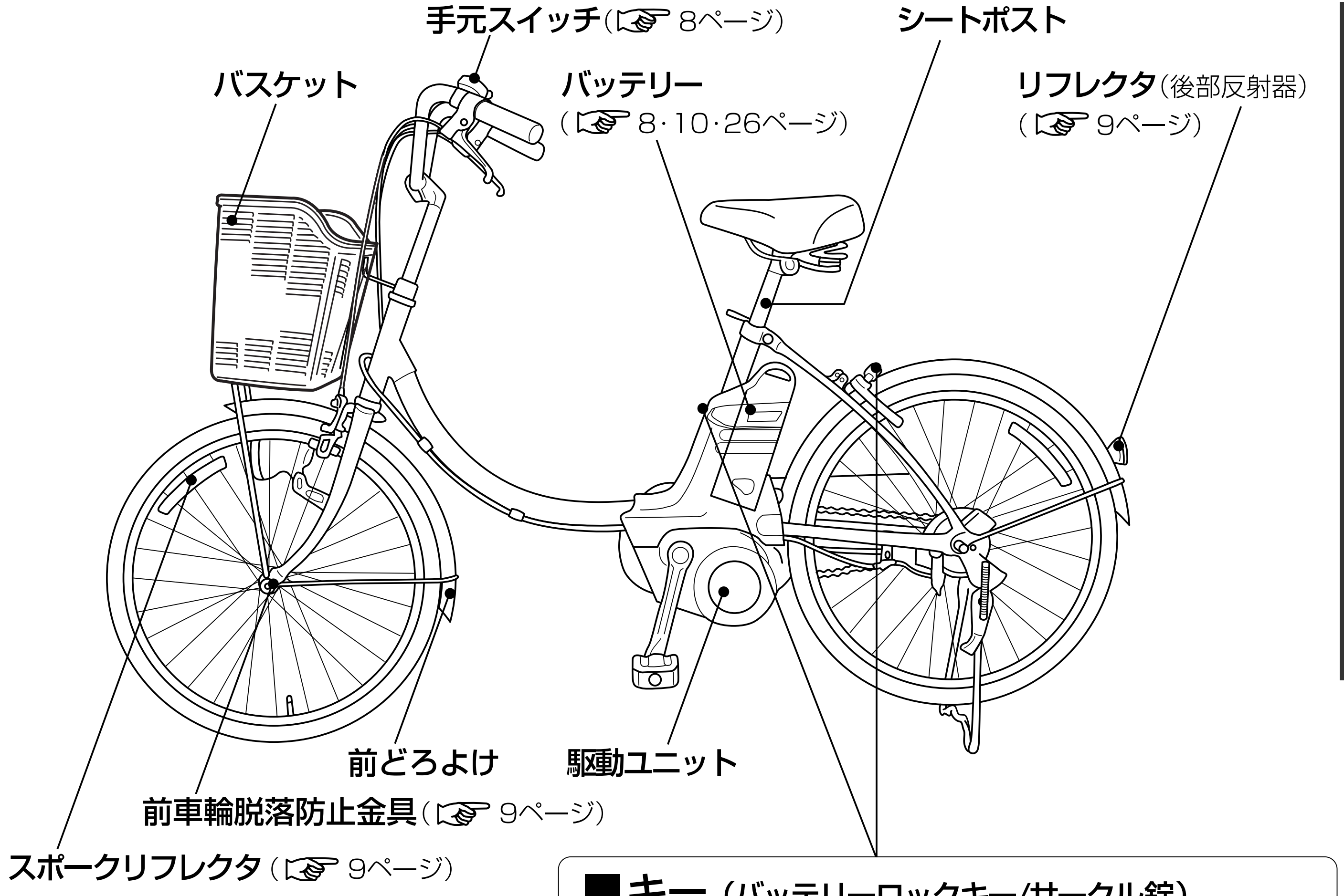
コードが引っぱられると故障や、発火、感電のおそれがあります。
●平坦な場所にしっかり設置してください。

■充電中はカバーをしたり、上に物を置かない

内部が発熱し、発火のおそれがあります。

各部のなまえ（1）





■キー（バッテリーロックキー/サークル錠）

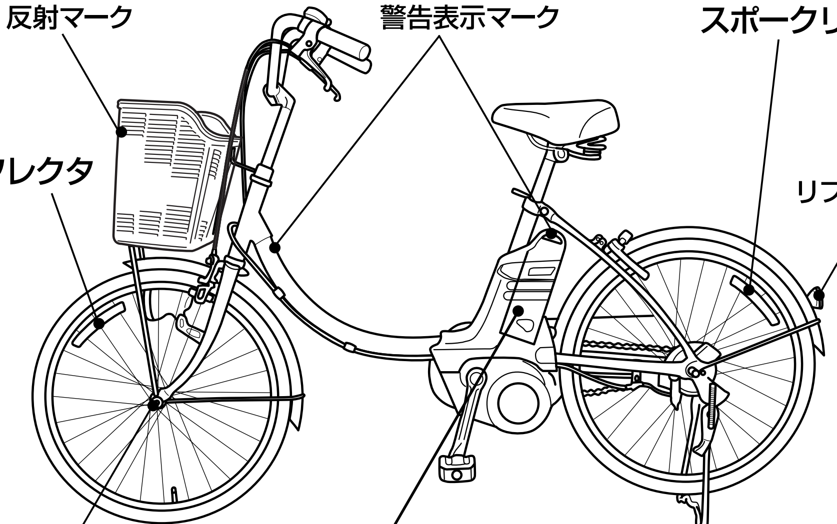
お願い

●キーの番号は、控えておいてください。（保証書のキー番号欄とこの説明書の31ページの記入欄に記入できます。）キーを紛失されても、番号がわかればスペアキーをお求めいただけます。販売店にご相談ください。

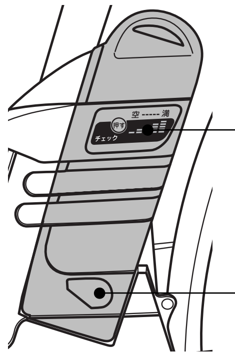
お知らせ

●サークル錠のみ交換された場合は、キーが2種類になります。

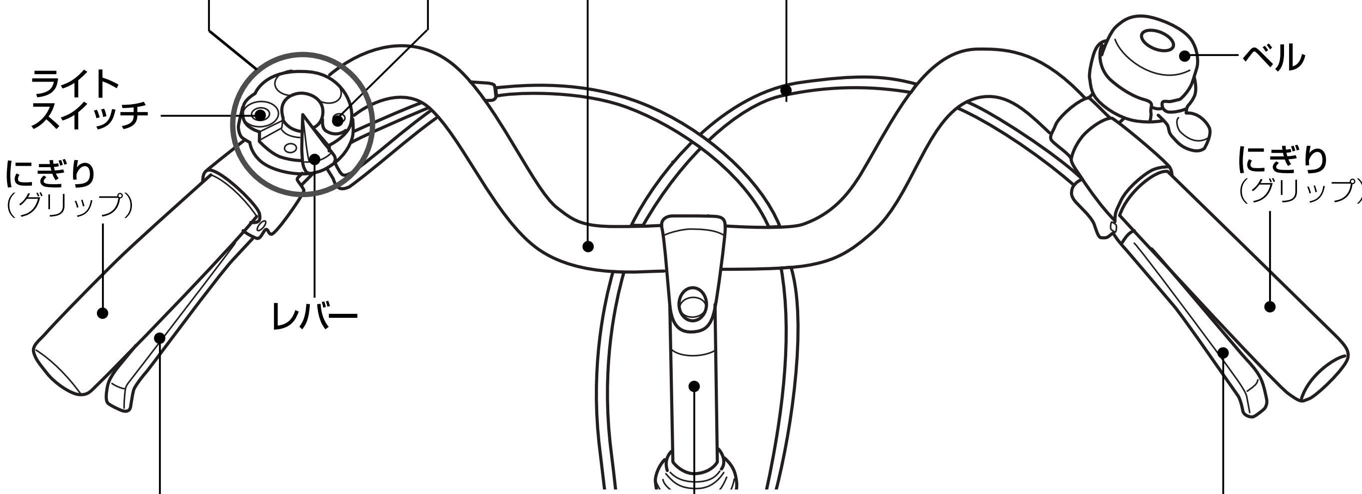
各部のなまえ（2）



■バッテリー



- ● 充電のしかた
（☞ 10 ページ）
- バッテリー残量表示ランプ
（☞ 18 ページ）
- 充電コネクター
（☞ 10 ページ）

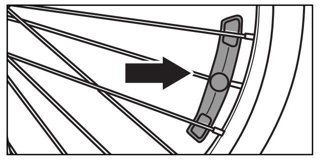


⚠警告

🚫 **安全装置や警告表示マークは取り外さない**
外したまま使用すると、事故発生の原因になります。

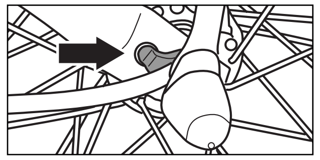
■安全装置

スポークリフレクタ



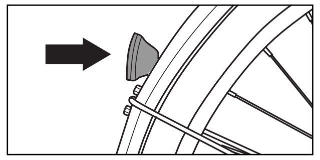
横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



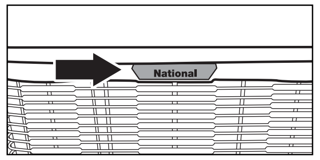
前車輪の脱落を防止します

リフレクタ（後部反射器）



後からの光を反射します

反射マーク



前からの光を反射します

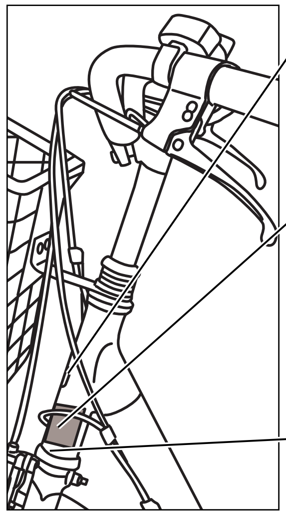
※リフレクタ及び反射マークが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。

■警告表示マーク

上パイプの上部、バッテリーの上部の2カ所に貼付しています。

お知らせ

●警告表示マークがはがれたりなくなった場合は、販売店かお客様相談窓口にご相談ください。



■品番マーク

このマークは法律上、自転車として
認定されたものです。
取り外さないでください。

（品番マーク）

■基準適合TSマーク

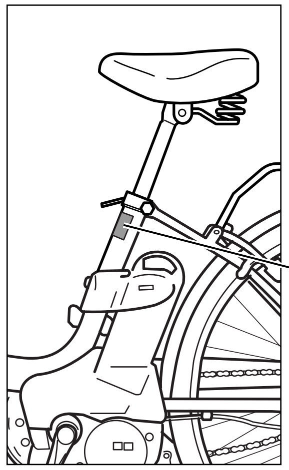
このマークは、道路交通法の規定に適合し、国家公安委員会の型式認定を取得した製品にのみ表示されるもので、安心して自転車としてご利用頂ける証明です。
（工場出荷時に貼付しているTSマークには、保険は付帯されていません。保険付きは29ページ参照。）

（基準適合TSマーク）

■車体番号（刻印位置）

防犯登録に必要で、7文字（数字と英字）で表示しています。

●この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。



自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会がJIS（日本工業規格）をベースにDIN（ドイツ規格）など海外の規格や粗悪自転車による自転車事故事例等を踏まえて、消費者の安全第一を考えて定めた基準です。

■BAAマーク

「BAAマーク」は、自転車安全基準に合格した自転車に貼ることができるマークです。
「BAAマーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。
※BAA=自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

充電のしかた （通常充電（バッテリーを取り外して））

（バッテリーは酷暑、酷寒、衝撃を避けるのが上手な使い方です。）

充電には、
● **通常充電**（バッテリーが消耗した場合の充電）と、
● **リフレッシュ充電**（バッテリーの性能を回復させるための充電）
の、2種類があります。
なお、充電はバッテリーをのせたままでも、取外してもできます。
（残量表示ランプが、点滅するまで乗った場合にかかる充電時間を、
記載しております。）

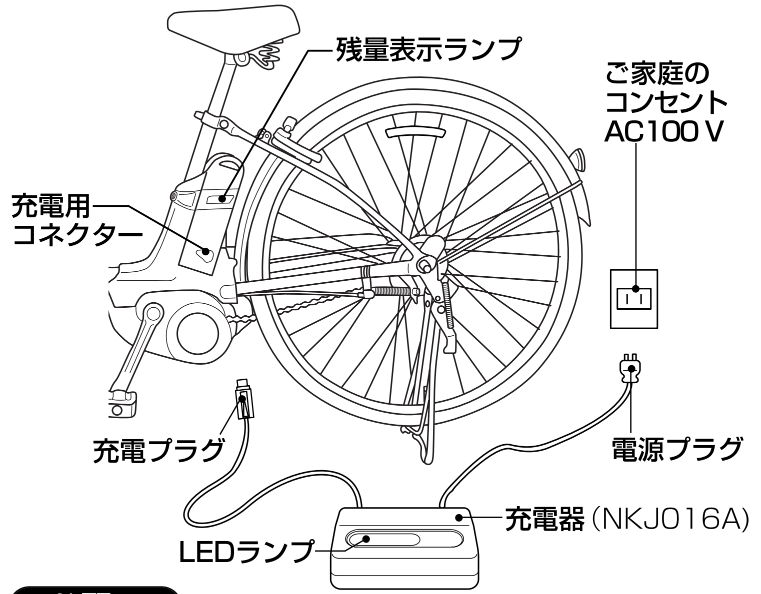
お知らせ

- リフレッシュ充電を繰返しても、走行距離が著しく短いときは、バッテリーの寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。
- 電池寿命と省エネのために、48 時間以上の充電は、お避けください。（通常/ リフレッシュとも）

お願い

- **初めて乗る時や1ヵ月以上乗られていない場合は、必ず充電してください。**（出荷時は、充電していません）
- **充電時の周囲温度は、0 ℃～40 ℃の場所で充電してください。（バッテリー内の温度が、0 ℃～40 ℃以外の場合は、充電器が待機状態になり、充電できません。）**
- **充電コネクターのゴム蓋は、走行や保管時には、確実にふたをしてください。**（水やほこりが入って、接触不良を起こすのを防ぐため）
- **充電器は、必ず、保護シートを外し、外装箱から出して、ご使用ください。**（充電中の熱のためケース等の変形防止）

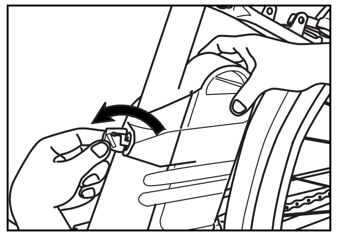
充電は、バッテリーをのせたままでもできます。
充電方法は、バッテリーを取外した場合と同じです。



お願い

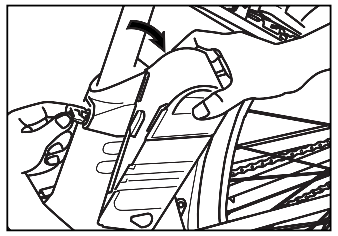
- 充電しない時は、必ず、電源プラグ、充電プラグを抜いて、保管してください。

1 ロックを外す

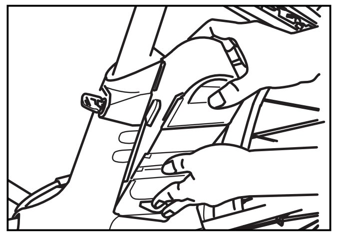


バッテリーを支えながら、
バッテリーロックキーを反時計方向に回し、

2 バッテリーを取り外す

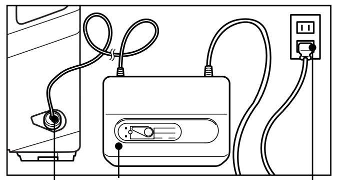


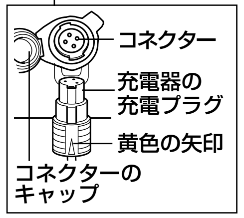
バッテリーを
ゆっくり
手前に倒して



両手で支えながら
引き上げて外す。

3 充電する

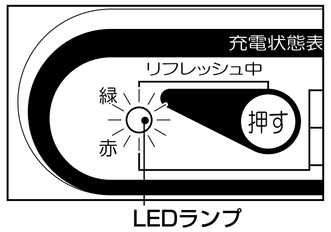




（充電プラグの黄色の矢印を上にして差し込む）

1 **電源プラグをコンセント（100 V）に差込んだ後、充電用コネクターのキャップを外し、充電プラグを接続する。**

2



充電器のLEDランプの点灯（赤色）を確認する。

約1.2～1.5 時間後

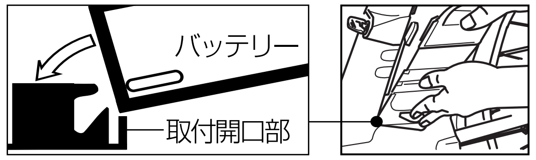
点 滅（待機中） ……▶ 連続点灯（充電中） ……▶ ゆっくり点滅（充電完了）

通常充電中に、リフレッシュボタンを誤って押したときは、LEDランプの色を確認し、
● **緑色のときは、**
⇨リフレッシュ充電に替わっています。充電プラグを抜いて、通常充電をやり直してください。
● **赤色のときは、**
⇨そのまま通常充電されます。

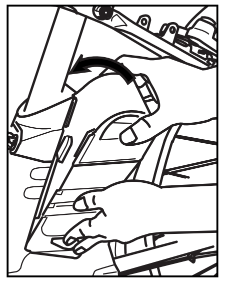
3 **充電用コネクターから充電プラグを外し、キャップをした後、コンセント（100 V）から電源プラグを抜く。**

4 バッテリーを取り付ける

1 **取付開口部の底にバッテリーのカドを乗せる。**



2 **バッテリーを「カチッ」と音がするまで、垂直に起こす。**
（バッテリーのカドを支点にして、弧をえがくように起こす。）



お願い

- **装着後、バッテリーを手前に引いてみて、確実に装着されたことを確認してください。**

充電のしかた

リフレッシュ充電（月1回程度が目安）

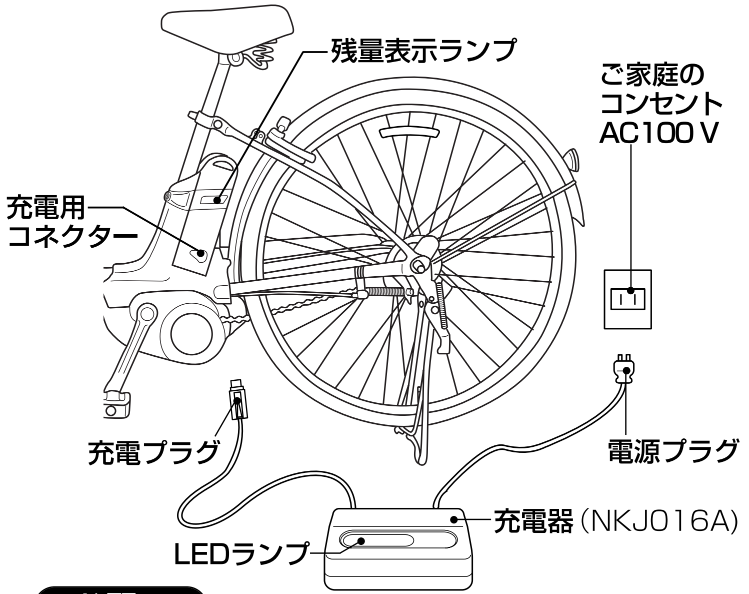
バッテリーは酷暑、酷寒、衝撃を避けるのが上手な使い方です。

乗るまえに

バッテリーは、消耗分のみ充電する「継ぎ足し充電」を続けると、充電しても走行距離が、短くなってきます。
リフレッシュ充電は、バッテリーの性能を回復させるため、一度放電させた後、充電を行なうものです。

- ■ **接続後(手順3-1)で、4分以上過ぎますとリフレッシュできません。**
  ⇨通常充電になります。
  充電プラグを抜いて、やり直してください。
- ■ バッテリーの残量が少ないほど、リフレッシュ充電時間は短くなります。
  ⇨満充電状態から行うと長時間（**最長約9 時間**）かかり、エネルギーのムダ使いになりますので、なるべく避けてください。
- ■ 充電中は、バッテリーの残量表示ランプが点灯し、現在の充電された状態を表示します。

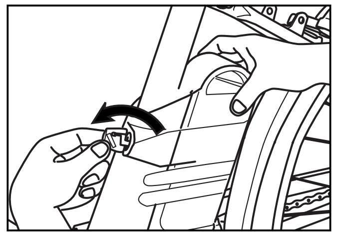
リフレッシュ充電は、
バッテリーをのせたままでもできます。
充電方法は、バッテリーを取外した場合と同じです。



お願い

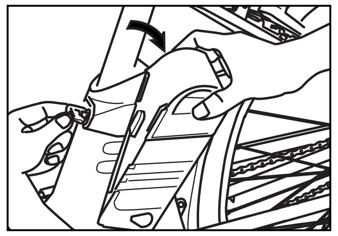
●充電しない時は、必ず、電源プラグ、充電プラグを抜いて、保管する。

1 ロックを外す

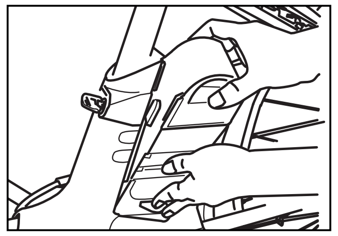


バッテリーを支えながら、
バッテリーロックキーを反時計方向に回し、

2 バッテリーを取り外す



バッテリーを
ゆっくり
手前に倒して

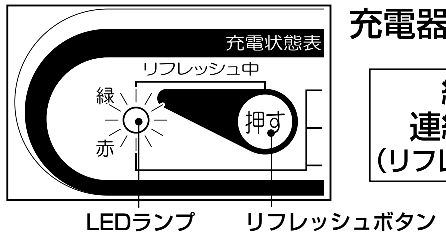


両手で支えながら
引き上げて外す。

3 リフレッシュ充電する

1 **電源プラグをコンセント（100 V）に差込んだ後、充電用コネクターのキャップを外し、充電プラグを接続する。**

2 **リフレッシュボタンを押す。**（接続して4分以内に）



充電器のLEDランプが緑色連続点灯することを確認する。

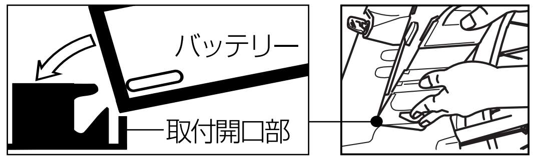
緑色 連続点灯（リフレッシュ中） → 赤色 連続点灯（充電中） → 赤色 ゆっくり点滅（充電完了）

3 **充電完了**（赤色ゆっくり点滅）**を確認してから、**

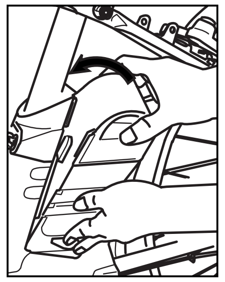
4 **充電用コネクターから充電プラグを外し、キャップをした後、コンセント（100 V）から電源プラグを抜く。**

4 バッテリーを取り付ける

1 **取付開口部の底にバッテリーのカドを乗せる。**



2 **バッテリーを「カチッ」と音がするまで、垂直に起こす。**
（バッテリーのカドを支点にして、弧をえがくように起こす。）



お願い

●装着後、バッテリーを手前に引いてみて、確実に装着されたことを確認してください。

乗るまえに

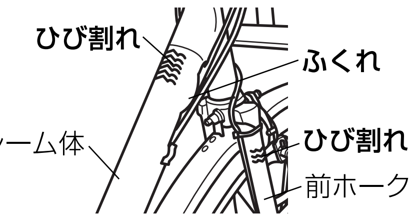
乗るまえの点検

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整を実施する習慣をつけましょう。
点検、調整後は**走行テスト**をしてください。

⚠警告

ひび割れや変形したままで走行しない



折れて転倒し、けがのおそれがあります。
●続けて乗らずに、販売店で点検、整備をしてください。

⚠注意

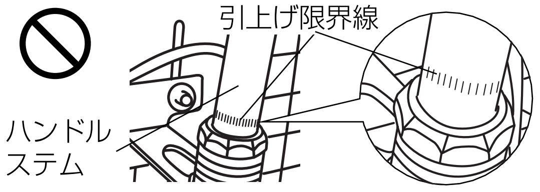
点検で異常があったときは、乗車しない

事故や転倒のおそれがあります。
●異常があったときは販売店にご相談ください。

■ハンドルの高さ

⚠警告

引上げ限界線が、見えるまで上げない



ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

◎ハンドルステムの固定は、確実か？
◎ハンドルステムの引上げ限界線が、見えていないか？

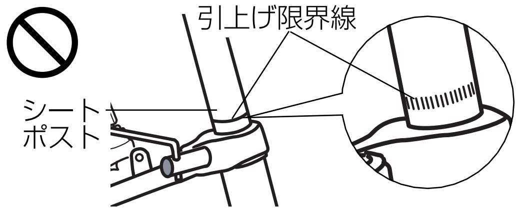
お願い

●ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■サドルの高さ

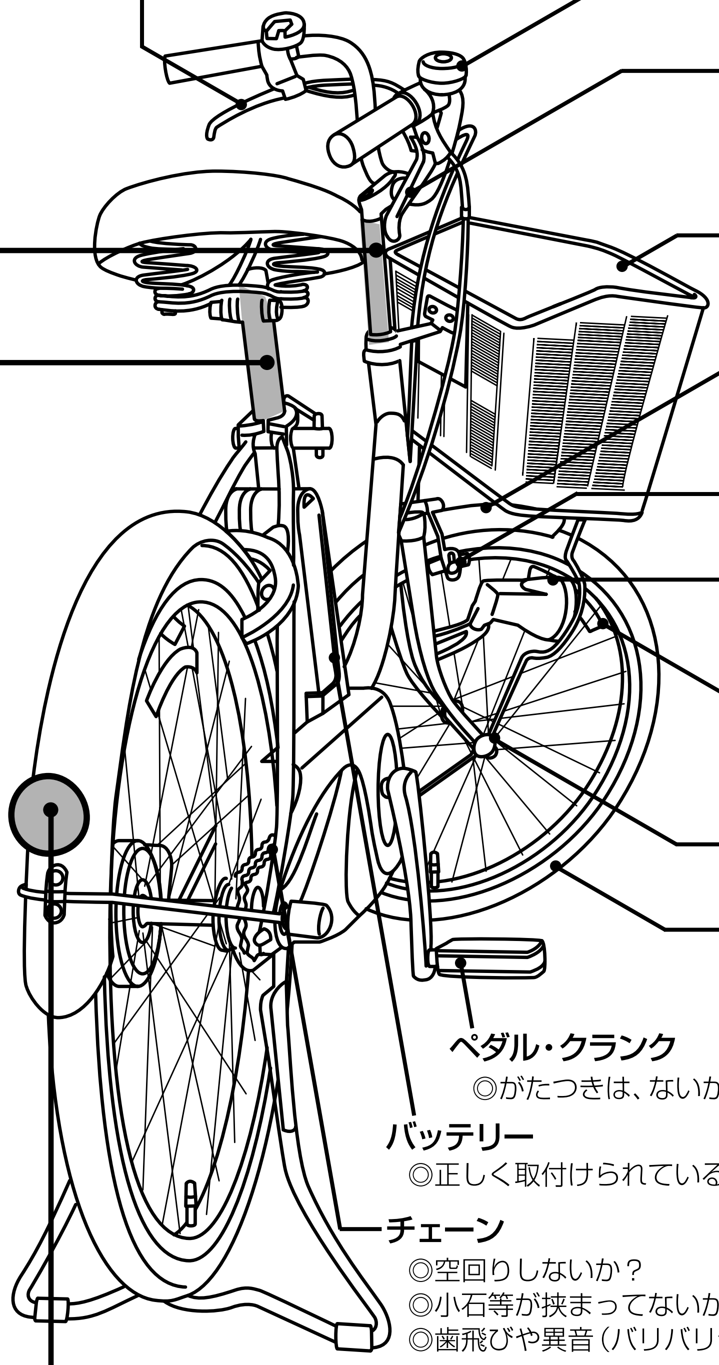
⚠警告

引上げ限界線が、見えるまで上げない



シートポストが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

◎サドルに座って、両足のかかとが、地面に着くか？
◎引上げ限界線が、見えていないか？



後ブレーキレバー
◎よく効くか？
◎ワイヤのさびやほつれはないか？
・固定は確実か？・作動は円滑か？

ベル
◎よく鳴るか？

前ブレーキレバー
◎よく効くか？
◎ワイヤのさびやほつれはないか？
・固定は確実か？・作動は円滑か？

バスケット
◎がたつきは、ないか？

どろよけ〈前後とも〉
◎がたつきは、ないか？
◎タイヤにあたっていないか？

前ブレーキ（ブレーキシュー）
◎すりへっていないか？

バッテリーライト
◎点灯するか？
◎がたつきは、ないか？

スポークリフレクタ
◎割れやがたつきは、ないか

ハブナット
◎車輪にがたつきは、ないか？

車輪（前後とも）
◎リム……………振れ、変形はないか？
◎スポーク………曲がり、折れはないか？
◎ハブ……………がたつきはないか？
◎タイヤ…………摩耗、切傷はないか？
空気圧は適正か？
（☞16ページ）

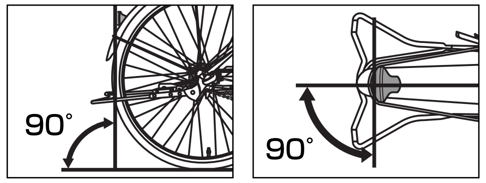
ペダル・クランク
◎がたつきは、ないか？

バッテリー
◎正しく取付けられているか？

チェーン
◎空回りしないか？
◎小石等が挟まってないか？
◎歯飛びや異音（バリバリ音等）はないか？

■リフレクタの角度

◎割れや、汚れはないか？
◎後からの光を反射する角度になっているか？



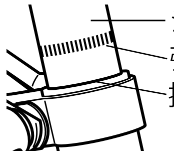
乗るまえの調整

わからないときは、販売店にご相談ください。

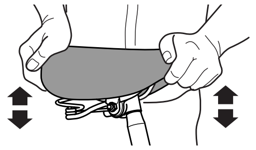
■サドルの調整

⚠警告

引上げ限界線が見えるまで上げない

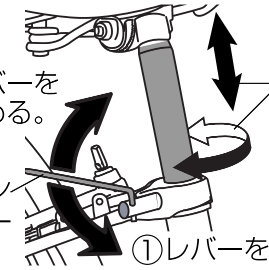


調整後は必ず点検をする



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

●高さと向きの調整

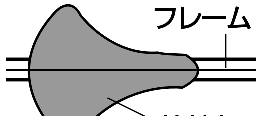


④がたつきやずれがないことを確認する。

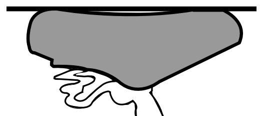
お知らせ

●固定を確実にするために、シートポストに油を塗らないでください。

●サドルの正しい方向と角度



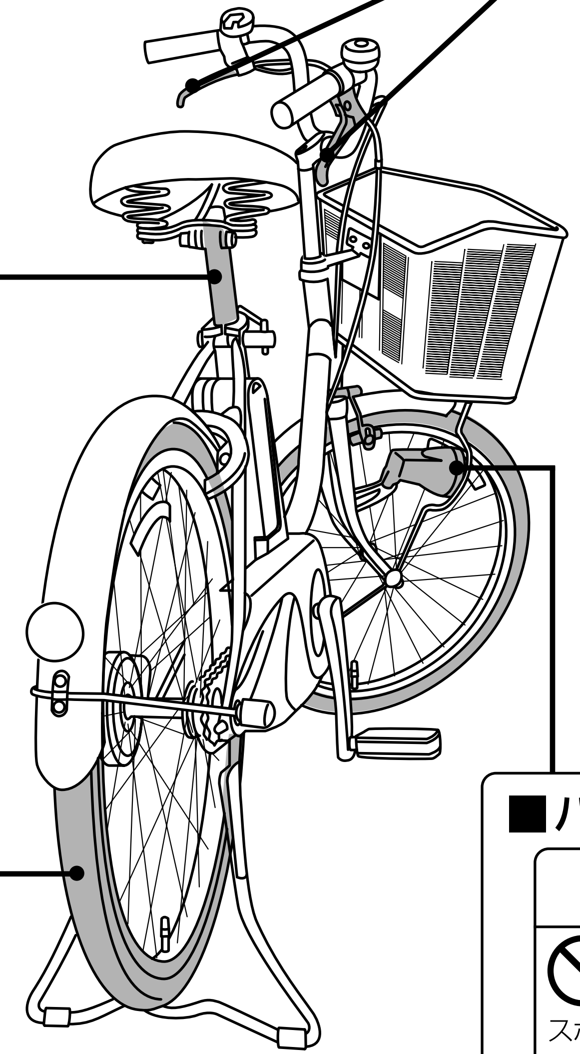
フレームと平行に合わせる。



サドルの上面と地面を平行にする。

お願い

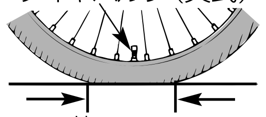
●角度の調整は販売店にご相談ください。



■空気圧の点検（前後のタイヤ）

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約10 cm程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。



お知らせ

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。

●空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。
圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の空気圧表示を目安にしてください。

〈参考〉タイヤ側面の空気圧表示

kPa表示	350
(PSI 表示)	50
(kgf/cm²表示)	3.5

※(PSI 表示)と(kgf/cm²表示)は、参考として示したものです。

■ブレーキの調整

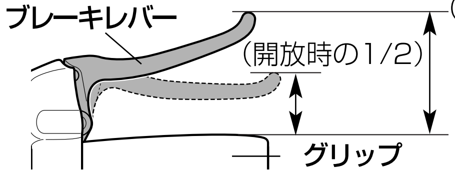
⚠警告

ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突の原因になります。

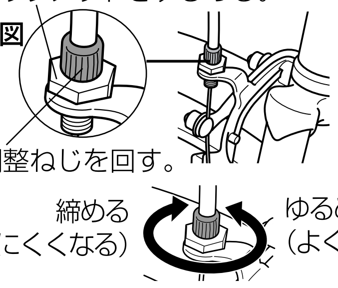
●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の1/2の位置で、ブレーキが効くように、調整する



●前ブレーキ

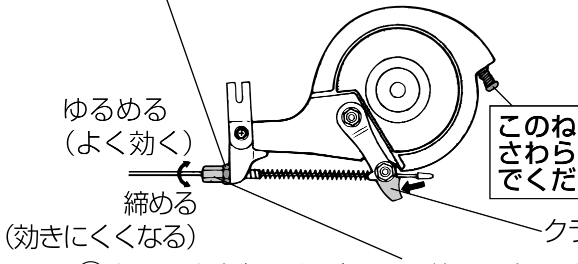
①ロックナットをゆるめる。



③走行してブレーキの効きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

●後ブレーキ

①ロックナットをゆるめる。



②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの効きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

お知らせ

●雨や水がかかったり、湿気により、ブレーキをかけた時に音がでることがありますが、異常ではありません。

■バッテリーライトの取扱い

⚠警告

ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

スポークに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

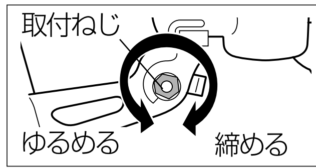
夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒のおそれがあります。

●ランプがつかないときは押して歩いてください。

●角度の調整

破損のおそれがありますので、取付ねじをゆるめて、調整してください。

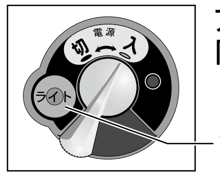


使用工具
スパナ（10 mm）
又は
ボックス（10 mm）

●照らす位置

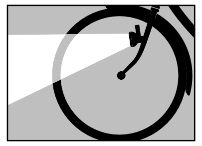
●点灯方法

1.



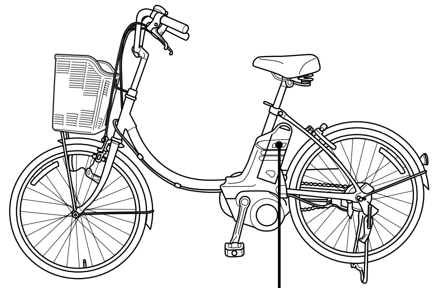
アシストモードスイッチを「入」にする。

2.



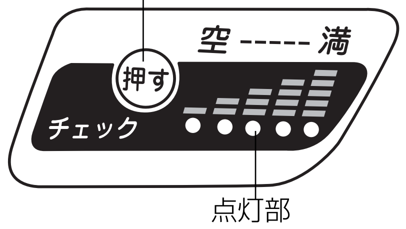
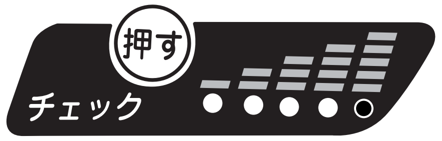
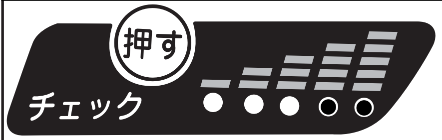
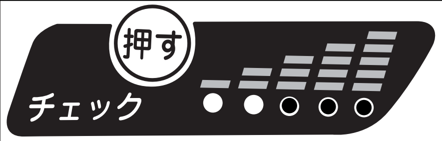
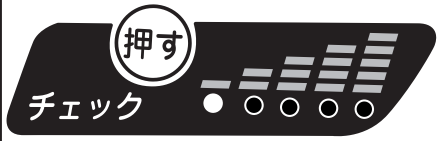
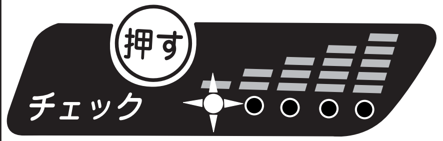
ライトスイッチを押して、点灯を確認する。
再度ライトスイッチを押すと消灯します。

乗るまえの確認　バッテリーの残量　走行距離の目安



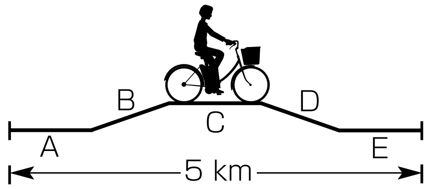
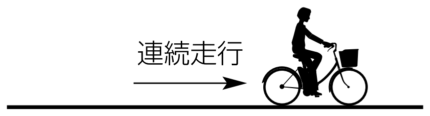
バッテリーの残量と目的地までの距離をよく確認してください。

バッテリーの容量が、どの程度残っているか、又はどの程度充電されているかを知ることができます。
残量表示用ボタンを押している間は、残量表示ランプが、残量を表示します。
（あくまでも目安としてご使用ください。）

残量表示ランプ	20　40　60　80　100%	
	約100〜80%	ほぼ満充電の状態です。 LEDランプ 5つとも点灯
	約80〜60%	LEDランプ 4つ点灯
	約60〜40%	およそ半分位です。 LEDランプ 3つ点灯
	約40〜20%	LEDランプ 2つ点灯
	約20〜10%	LEDランプ 1つ点灯
	約10%〜0%	残りわずか… 充電してください。 LEDランプ 1つ点滅

走行距離の目安は、次の条件で測定しています。
- バッテリーは新品、気温は常温20 ℃、車載質量は60 kg（乗員および荷物を合計した質量。）
- バッテリーライトは、未点灯。

■走行距離の目安（満充電後、バッテリーの残量が0になるまでの目安です。当社の実験より）

走りかた	走行距離（km） 10　20　30　40	走行条件
標準モード走行 （業界統一テスト条件） 	23km	Aは、平坦1 km、　時速12 km/h Bは、2度坂1 km、　時速12 km/h Cは、平坦1 km、　時速12 km/h Dは、2度坂1 km、　時速12 km/h Eは、平坦1 km、　時速12 km/h
平坦路 	33 km	時速12 km/h
坂道（勾配2度） 	8 km	時速10 km/h
きつい坂道（勾配4度） 	5 km	時速　7 km/h

※ 上記「標準モード走行」は業界で統一のテスト条件です。

お知らせ

バッテリーが新品のときや、長期間使用されていないとき、又は、特に寒い日や坂を登ったときは次のような症状が起こる場合があります。

●充電完了後も、5個全部点灯しない。
⇨ 残量表示ランプが点滅するまで使用してから、『リフレッシュ充電』を行う。

●残量表示が点灯しているが、補助力（アシスト）が働かない。
⇨ 再度『通常充電』して確認する。

お知らせ

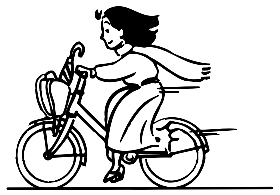
- **冬期は、バッテリーの特性上、走行距離が短くなります。**
- **充電回数の増加に従い、1回の充電での走行距離がしだいに短くなります。**
- **走行距離は、道路状況や走り方により異なります。**
  （積載重量が10 kg増えた場合、通常にくらべ約10 %走行距離が短くなります。）
- **ペダルが重くなる使い方ほどバッテリーは早く消耗します。**
- **充電回数が少なくても、長期間の使用により、走行距離が短くなります。**

安全・快適にお乗りいただくために…

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、交通ルールを守りましょう。

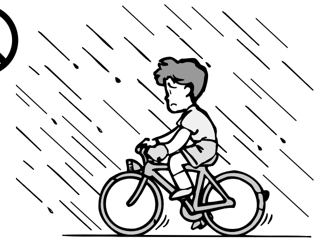
こんな乗り方は、やめましょう！

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない
（長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど）



車輪やギヤに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

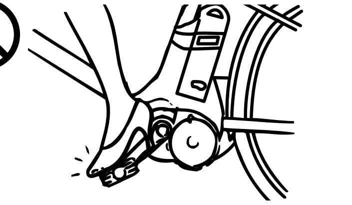


バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒するおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



足がペダルから外れ、転倒のおそれがあります。

■運動機能が低下するものを摂取したときは、乗らない
（アルコールや、かぜ薬など）

意識が薄れ、衝突などのおそれがあります。

■回転物に手を触れない
（ギヤ・車輪・チェーンなど）

手を巻き込まれるおそれがあります。

こんな走り方は、やめましょう！

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩すおそれがあります。

■滑りやすいところでは乗らない
（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）

スリップして、転倒のおそれがあります。
●降りて、押して歩いてください。

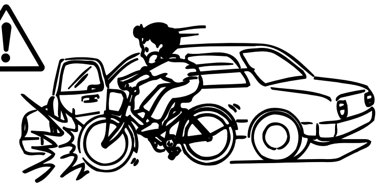
■合図以外は、ハンドルから手を離さない

バランスがとりにくく、転倒のおそれがあります。

■凹凸の激しいところを走らない
（歩道の段差や、溝など）

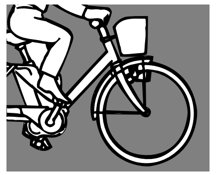
フレームや車輪の損傷や転倒のおそれがあります。
●降りて、押して歩いてください。

■車の横を走るときは、注意する



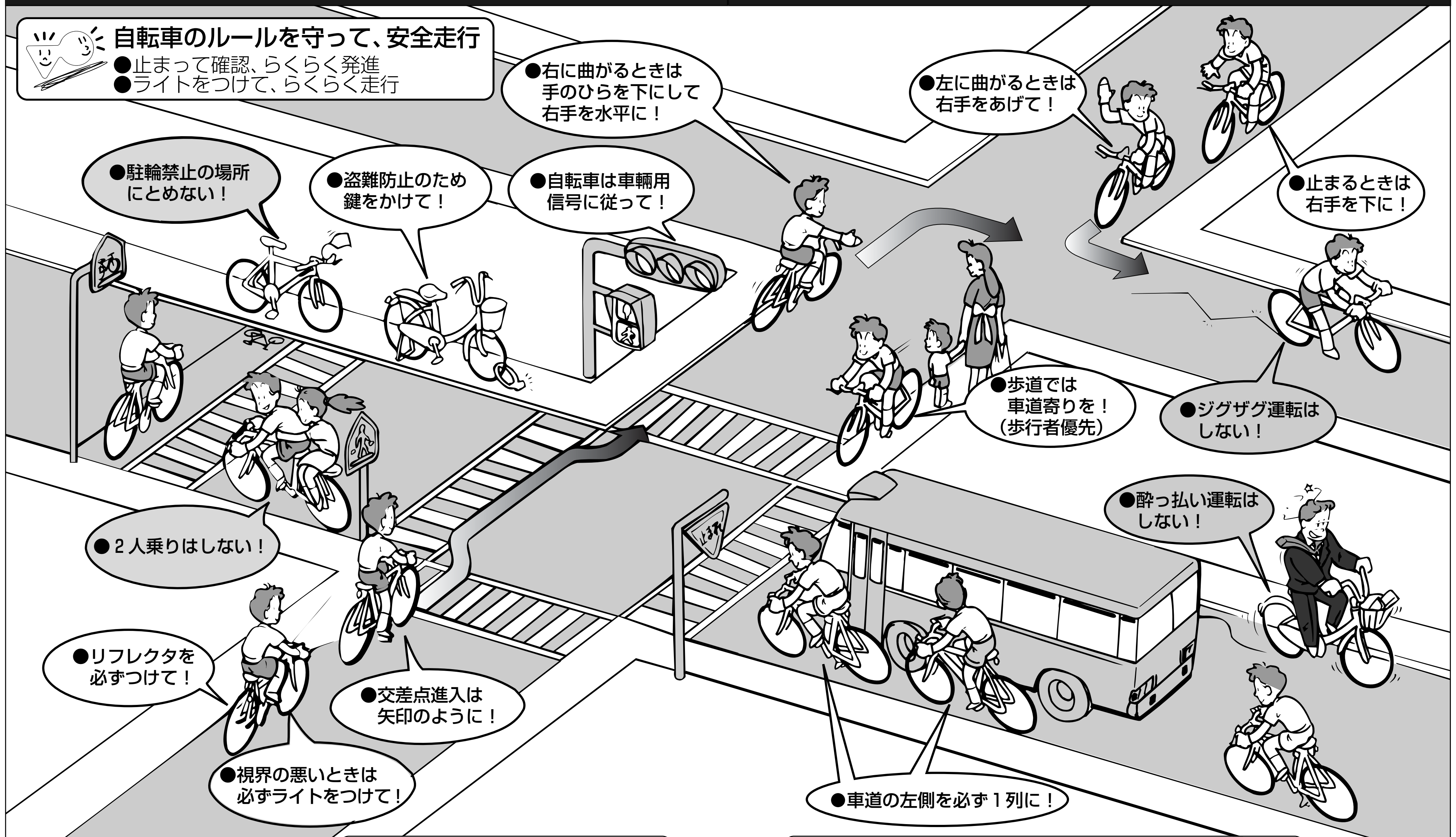
駐車や停車中の車のドアが急に開いたり、車の陰から人や動物が、出てくることがあります
●安全を確認し、走行してください。

■夜間や視界の悪いときは、無灯火で乗らない



衝突や転倒するおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。
無灯火での乗車は、法律違反になります。

道を走るときに必要なルールです。　まず、これだけは覚えておきましょう。



■走行以外に使わない
（踏み台代わりなど）

転倒するおそれがあります。

■スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らない

車輪に巻き込まれて転倒のおそれがあります。

さあ、乗りましょう！

荷物を積むとき

⚠警告

積載条件から外れる荷物を積まない

〈バスケット積載条件〉

- **●大きさ　：バスケットにおさまる大きさ**
- **●重さ　　：3 kgまで**

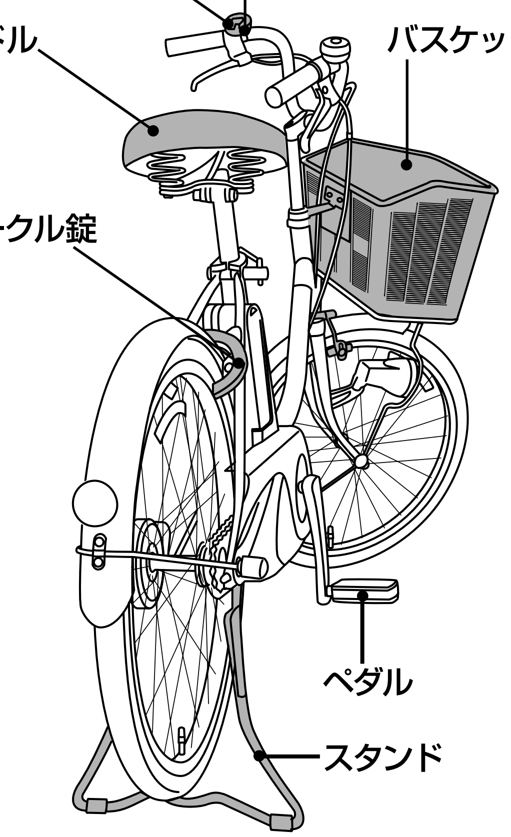
〈リヤキャリヤ(別売オプション)**積載条件〉**

- **●高さ　　：30 cmまで**
- **●幅・長さ：キャリヤの幅・長さプラス10 cmまで**
- **●重さ　　：フロントバスケット・リヤキャリヤ合わせて15 kgまで**(クラス表示18)
  (但し、フロントバスケットは3 kgまで。)

バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

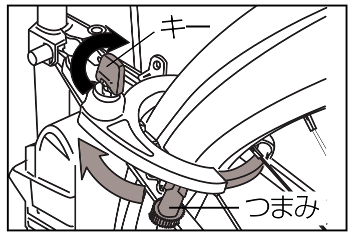
お願い

- **●荷物の運搬には、キャリヤ及びバスケット以外は使用しないでください。**
- ●リヤキャリヤをご使用の際は、当社の純正オプション部品を装着してください。
- **●容量の大きいバスケットやリヤキャリヤに交換しても最大積載重量は同じです。**



乗りかた

1



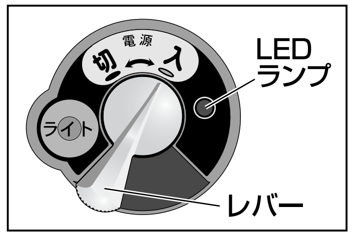
サークル錠を開錠する。

●キーを差し込み、時計方向に回す。
（走行時は、キーが付いたままになります。）

お知らせ

●この時つまみが、勢い良く戻りますのでご注意ください。

2



スイッチを「入」にする。

●レバーを回し、「入」の位置にする。
（LEDランプ点灯）

LEDランプが約2秒間点灯後、消えたことを確認する。

（LED点灯中は、トルクセンサーの初期設定を行ってるのでペダルに足を乗せない。）

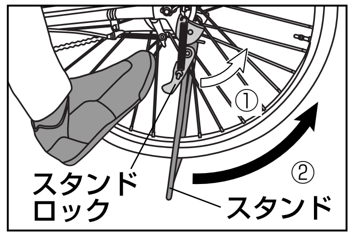
お知らせ

- ●停止して10分以上たつと、自動的に電源が切れます。**(オートオフシステム)**
  （再度走行する時はスイッチを「切」にし、「1」の操作からやり直してください。）
- ●ViViのシステムは、長期のご使用においても正確なアシストを維持するためスイッチを入れる度ごとに、トルクセンサーを校正しています。

お願い

- ●点灯しないときは、バッテリーの充電や固定が確実にできているかを確認してください。

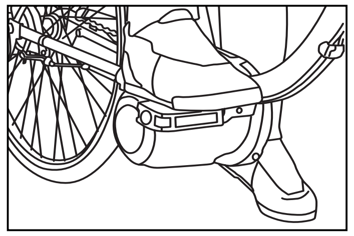
3



スタンドを上げてサドルにまたがる。

●スタンドロックを解除し、スタンドを後方へ完全にはね上げる。

4



ポイント

効き足側のペダルの位置を水平よりやや上側にする。

前後左右の安全を確認して、ペダルを踏んで発進する。

（電動補助システムが働き、作動音がします。）

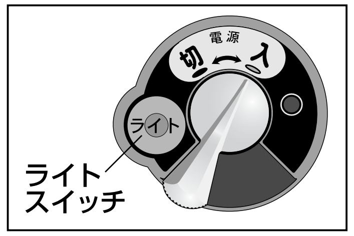
お願い

- **●停車中は、両足を地面に着けるか、又は、ブレーキを掛けた状態にしてください。**
- **●走行中に通常と異なった音がした場合は、お求めの販売店へ相談し、確認してください。**

お知らせ

- ●走行中は、ラジオ等に雑音が入る場合があります。

ライトについて



ライトスイッチは、1回押すとライトが点灯し、もう1回押すとライトが消灯します。

走行中のLEDランプの表示の内容

点滅状況とバッテリーの容量の判断は、次の通りです。

LEDランプ	
● 消灯	**走行できる。**
☼ ゆっくり点滅	**バッテリーの容量が少ない（残量は約20%です。）充電をお勧めします。**
☼ 速く点滅	
● 約3分後に消灯	**バッテリーの容量がありません。充電が必要です。**

お知らせ

- **●急な坂道など、ペダルを思いきりこぐ状態が続いたり、長期間バッテリーを使用しなかったとき、LED表示と整合しない場合があります。**
  一度スイッチを切ってから、再度スイッチを入れてください。

それでも直らない場合は、リフレッシュ充電をしてください。

⚠注意

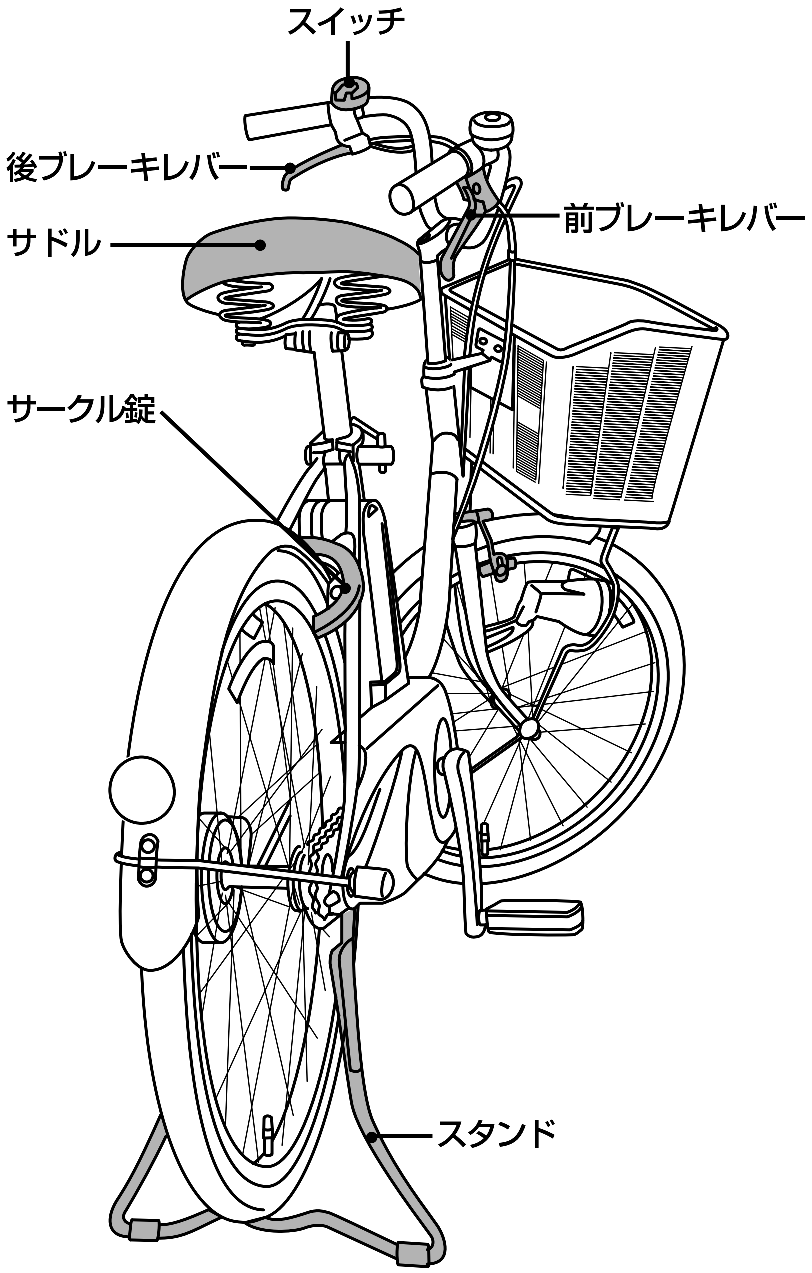
けんけん乗り（けり乗り）しない

転倒や接触事故のおそれ
●必ずサドルにまたがって、発進してください。

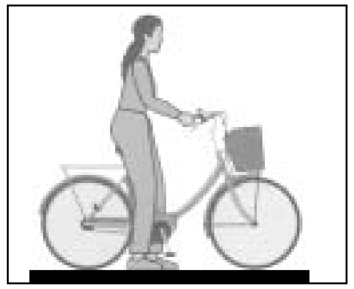
※けんけん乗り（けり乗り）とは、
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗り方です。

乗りかた

乗ったあとは…（駐輪・施錠）

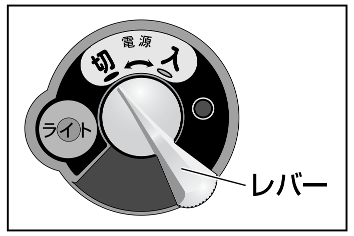


1 ■停止するとき



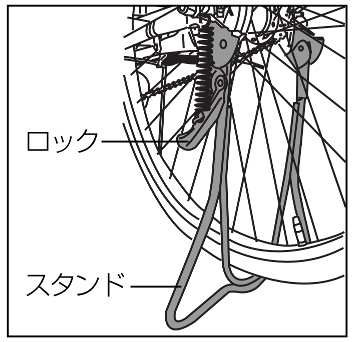
ブレーキは、後ろを先に、(又は前後同時に) かけ、
サドルにまたがったまま、両足を地面に着いて停止する。

2 ■駐輪するとき



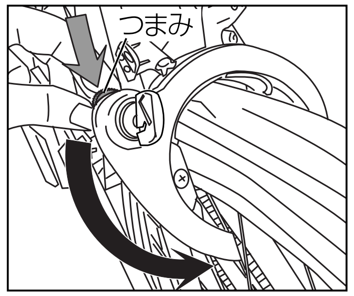
レバーを「切」にする。

3

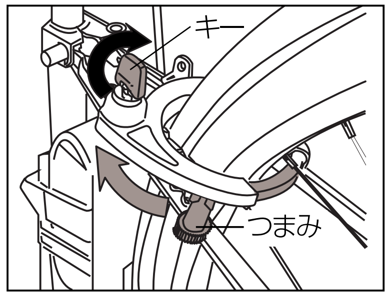


スタンドを立て、
ロックをかける。

4 ■サークル錠を施錠



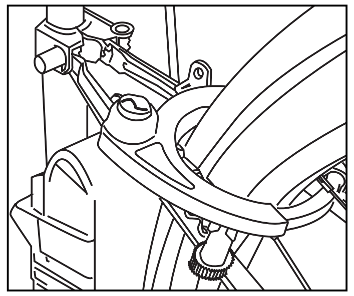
サークル錠のつまみを
押しながら下へ回し、
施錠する。



●**開錠するとき**
キーを差し込み、**時計方向**に回す。
(走行時は、キーが付いたままになります。)

お知らせ

●**この時つまみが、勢い良く戻りますので**
ご注意ください。



キーを抜く。

お願い

●**キーを付けたまま、駐輪しない。**(盗難防止のため)

●**「エレガント ViVi」は軽量化のため、軽合金製スタンドを採用しています。**
実用上は十分な強度がありますが、無理な力(スタンドを立てたまま、乗車して、車体を揺らすような) **を加えると変形する場合がありますので、ご注意願います。**

バッテリーについて　お手入れと保管　注油について

バッテリー

■バッテリーの種類は、ニッケル水素電池です。

特性は、

- ●充放電ができ、鉛バッテリーに比べ､大きな電流を最後まで引き出せます。（高性能と高信頼性）
- ●大部分の部品が､リサイクル可能です。

品番は、

●NKY140B02です。

■バッテリーの交換は、

● ご購入の販売店にご相談ください。

古いバッテリーは、リサイクルのために必ずご購入の販売店へお渡しください。

Ni-MH

使用済みの充電式ニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

■寿命の目安

充電回数は約500回位、使用期間は約2年間が目安です。（走行状況や気温･充電の仕方、使用期間等で異なります）

お知らせ

- ●１回の充電で、走行できる距離が著しく短くなったときが、交換の時期です。（約6割以下）
- **●バッテリー寿命の目安と、製品の保証期間とは関係ありません。**

■長期保存する場合は、

バッテリーを長くお使いいただく為のポイント。

- ●満充電してください。
- **●望ましい周囲気温は10 ℃～30 ℃です。**
- **●3ヵ月以上の長期保存の場合は、最低3ヵ月に1回充電してください。**
（自己放電による性能劣化や漏液予防のため）

お手入れ

■日常のお手入れは、

- ●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
洗車は、しないでください。
- ●がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。

■湿気の多い所や海岸沿いは、

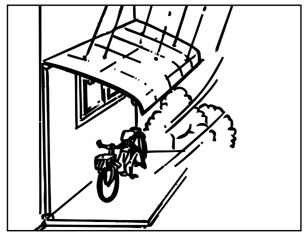
さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

お願い

- **●シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）**
- **●サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）**

保　　管

■保管場所は、



- **●安定のよいところ。**
- **●風通しがよく、湿気のないところ。**
- **●雨つゆや直射日光が当らないところ。**

■タイヤには、

空気を十分に入れてください。

（☞ 16ページ）

廃　　棄

■廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

注　油

⚠警告

リムやブレーキシュー（ゴム部）には、油をつけない（注油禁止）

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒のおそれがあります。

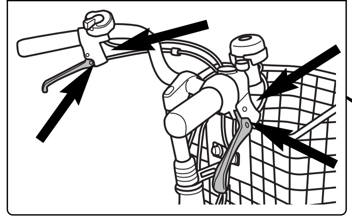
お知らせ

- ● このマークは、**注油場所**を示します。
- ● このマークは、**注油禁止場所**を示します。

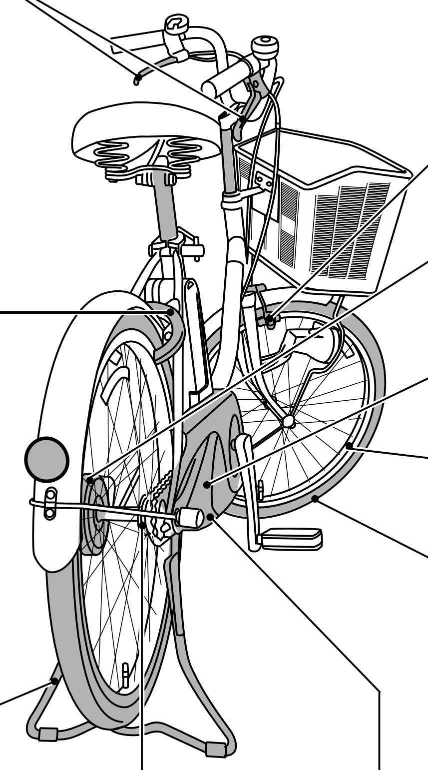
お願い

- **●油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。**
（食用油などは､硬化するおそれがあります。）
- **●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。**

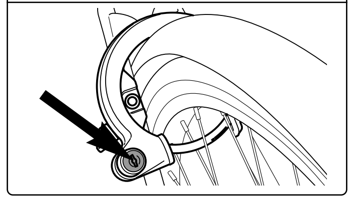
●ブレーキレバー〈前・後〉



レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。
（ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。）



●サークル錠



キー穴に注油。
（さびによる動作不具合を防ぎます。）

注油禁止 **前ブレーキ**（ブレーキシュー）

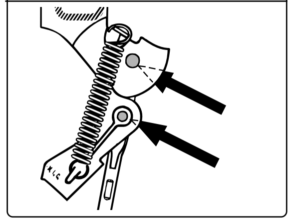
注油禁止 **後ブレーキ**

注油禁止 **チェーンケース**
ついた油は､すぐふき取る。
（変色を防ぎます。）

注油禁止 **リム**〈前・後〉

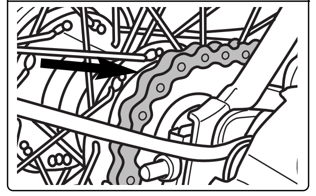
注油禁止 **タイヤ**〈前・後〉
ついた油は、すぐ拭き取る。
（ひび割れなど老化を防ぎます。）

●スタンド



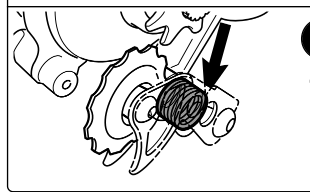
可動部に注油。
スタンドロックの裏側の2本のカシメ部分

●チェーン



クランクを回しながら注油し、余分な油はふき取る。
（サビやほこりがつくのを防ぎます。）

●テンションプーリー



お願い
●メンテナンスをする場合はグリスを使用してください。

テンションプーリーのバネ部にグリスを塗布。

定期点検／アフターサービスについて

定期点検

⚠ 警告

定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤは、異常がなくても2 年に1 回は、交換する。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
●ブレーキゴムは、溝の残りが、1 mm になる前に交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

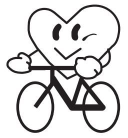
点検と整備は、『エレガント ViVi 』の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2ヵ月目）点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2ヵ月目）の点検と整備

お買い上げ2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い上げ販売店又は修理代行店で、点検・整備をお受けください。

●2回目以降（6ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検	定期点検をし、安全走行をしましょう！
	こんな症状はありませんか ●異常音がする ●がたつきやゆるみ ●車輪の振れ ●ブレーキの効きが悪い

お願い

●点検・整備は、お買い上げの販売店で行ってください。
●点検用のシートは、保証書の裏面に用意しておりますので、ご活用ください。

アフターサービスについて（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、 ▶ お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。
おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

●保証期間が過ぎた後は、 ▶ お買い上げの販売店にご相談ください。
修理すると使用できる製品は、ご希望により修理させていただきます。

盗難補償／基準適合TSマーク

盗難補償について

盗難補償制度とは、「エレガント ViVi」をお買い求めいただいたお客様を対象に、ご購入日より1年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込）の30パーセントと組立手数料4,200円（税込）で、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カード（メーカー返送用）をご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

（1）盗難補償の期間と範囲

お買い求めの日から１年間の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、
盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の内容

■お客様のご負担　①充電器を除く本体の希望小売価格（税込）の30%
　　　　　　　　　②組立手数料　4,200円（税込）

（3）盗難補償の申込み要領

■提出書類　①盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの
　　　　　　（警察受理ナンバー又は盗難届出証明書等）
　　　　　②盗難車の保証書
　　　　　③盗難車のキー（2本）
　　　　　④盗難補償申込書（販売店が用意いたします。）
■申込み先　お買い求めの販売店へ現金を添えて、お申し込みください。
　　　　　追って、販売店から新車を、お渡しいたします。

（4）盗難車の所有権

盗難車が発見された場合は、その所有権は当社に帰属することを同意の上お申し込みください。

（5）盗難補償ができない場合

①（3）の書類がそろわない場合　　②防犯登録がされてない場合
③補償期間が過ぎている場合　　④景品などの贈呈品の場合
⑤盗難補償車が再度、盗難にあった場合　　⑥盗難補償登録カードが返送されていない場合
⑦盗難車が見つかり、返ってきた場合　　⑧ 無施錠で盗難された場合

お知らせ

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。

基準適合TSマークについて

自転車安全整備店で点検整備を行い、基準に適合した安全な自転車にこのマークを貼ることができます。
このマークには、傷害保険と賠償責任保険が付帯されており、万一の事故の際に利用することができます。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。
（**工場出荷時に貼付しているTSマークには、保険は付帯されていません。**（9ページ参照。））

お願い

●点検 □ 年 □ 月 □ 日が記入されていない場合は、
必ず、お買い求めの販売店に記入してもらってください。記入されていない場合は、保証されないときがあります。

故障かな…？！

まず、次の表に従ってお調べいただき、直らないときは、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

	症状	対処方法	ページ
ペダルが重い	LEDランプが点灯しない	●バッテリーが確実に取り付けられていますか？ ⇨ バッテリーを確実に取り付ける。	13
ペダルが重い	LEDランプが早い点滅をする	●充電ができていますか？ ⇨ 充電をする。	10〜11
ペダルが重い	LEDランプが点灯したまま消えない	●モータユニットの異常です。 ⇨ 販売店に修理をご依頼ください。	—
ペダルが重い	補助（アシスト）が切れたり入ったりする	●配線がゆるんでいたり、端子が汚れていませんか？ ⇨ 販売店にご相談ください。	—
ペダルが重い	補助（アシスト）しない	●停止して10分以上たっていませんか？（オートオフシステム） ⇨ メインスイッチを入れなおしてください。	23
走行距離が短い	短い走行でLEDランプの点滅が始まる	●充電ができていますか？ ●長期間使用していなかったり、スイッチを「入」にしたまま駐輪していませんか？ ⇨ 充電する。	10〜11
		●継ぎ足し充電をしていませんか？ ●初めて使用するバッテリーではないですか？ ⇨ リフレッシュ充電をする。	12〜13
		●道路条件や変速位置、苛酷な走行により、走行距離が、短くなります。	19
充電できない	充電器のLEDランプが点灯しない	●プラグが抜けていませんか？ ⇨ プラグ（電源、充電）をしっかり差し込む。	10〜13
充電できない	充電器のLEDランプが「待機中」（1秒間に1回の点滅）のままで「充電中」に切り替らない	●バッテリーが、初めての使用だったり、長期間使用していなかったのではないですか？ ⇨ 数分後、自動的に切り替ります。	—
		●バッテリー内の温度が0 ℃〜40 ℃の範囲外になっている。 ⇨ 温度が0 ℃〜40 ℃の場所に移し、約2時間待つ。	10
		●ヒューズが切れています。 ⇨ 販売店に修理をご依頼ください。	—
充電できない	充電器のLEDランプが早い点滅をする（1秒間に4回の点滅）	●充電を始めて2時間以上たって発生した場合 ⇨ 充電をやり直す。	10〜11
		●充電を始めて2時間以内に発生する場合は、異常です。 ⇨ 販売店に修理をご依頼ください。	—

症状	対処方法	ページ
バッテリーや充電器が手で触れられないほど熱くなる（発火の心配）	●異常です。 ⇨ 販売店に修理をご依頼ください。	—
充電が完了したのに残量表示ランプが5個全部点灯しない	●バッテリーが、初めての使用だったり、長期間使用していなかったのではないですか？ ⇨ 本体のLEDランプが、点滅するまで走行してから、リフレッシュ充電をする。	12〜13
バッテリーランプが点灯しない	●充電できていますか？ ⇨ 充電する。	10〜11
	●メインスイッチは「入」になっていますか？ ●停止して10分以上たってませんか？（オートオフシステム） ⇨ メインスイッチを入れなおし、再度点灯の操作をする。	17
	●電球又は、ヒューズが切れています。 ●コードの断線又は、モーターユニットの異常です。 ⇨ 販売店に修理をご依頼ください。	—
ペダルに振動を感じる	●発進時や、非常に低速での走行時に振動を感じる場合がありますが、モーター固有の特性ですので、故障ではありません。	—
充電完了後、バッテリーの残量表示ランプが点滅する	●充電器からの微少な電流を検知しています。問題ありません。	—

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電　話（　　　）　　　ー
品　番	車体番号
キー番号	防犯登録番号

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口へ

最新のお客様ご相談窓口はホームページをご覧ください。

必要なとき

必要なとき